

# 福島第一原子力発電所 一時保管エリアP排水枡における 全ベータ値の一時的な上昇について（続報）

< 参 考 資 料 >  
2021年7月7日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

- 7月5日、一時保管エリアP排水枡における放射能分析結果（6月29日採取分）において、全ベータの値が、前回（5月21日）採取分に比較し、以下の通り、上昇していることを確認しました。なお、7月5日採取分においては、通常の変動の範囲内に戻っていることを確認しています。

【6月29日採取分】 全ベータ:750Bq/L、セシウム137:21Bq/L

【7月 5日採取分】 全ベータ:9.8Bq/L、セシウム137:5.8Bq/L

- 当該排水枡において、全ベータの値が一時的に上昇した原因は、現時点で不明ですが、今後、降雨があった日については、サンプリングの頻度を増やす等、当該排水枡周辺エリアを調査し、当該排水枡の全ベータ値が一時的に上昇した原因を調査してまいります。

<2021年7月5日お知らせ済み>

- 本日（7月7日）、当該排水枡の全ベータ値が上昇した原因調査のため、一時保管エリアP 1、P 2、およびE 1の近傍を流れる排水溝や排水枡、陳場沢川河口の水を採取し、分析を行ったところ、一時保管エリアP南側排水溝および東側流入地点（上流）の全ベータ値が高いことを確認しました。

・一時保管エリアP南側排水溝：全ベータ930Bq/L、セシウム137:370Bq/L、セシウム134:14Bq/L

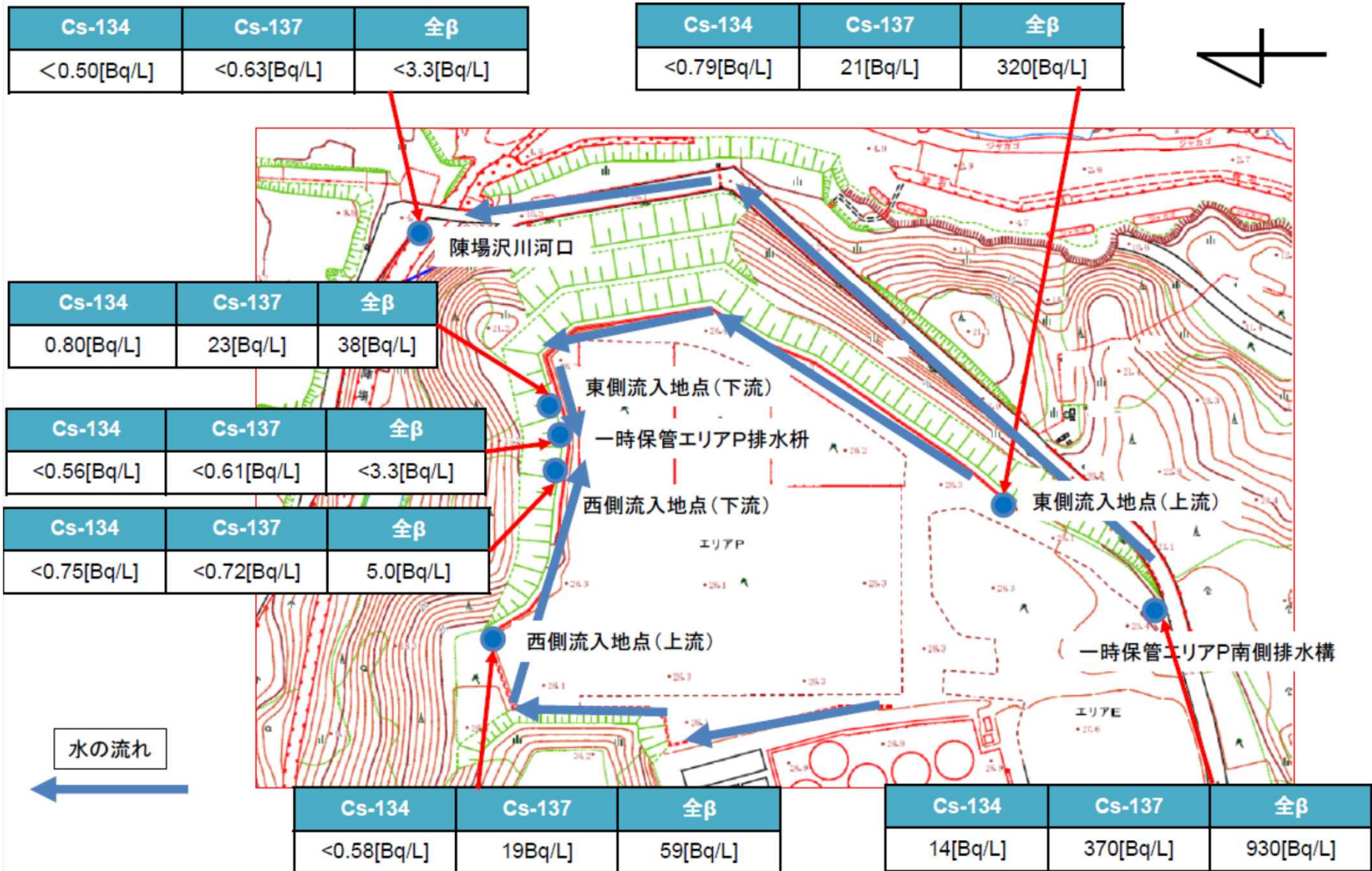
・東側流入地点（上流）：全ベータ320Bq/L、セシウム137:21Bq/L、セシウム134:ND

- なお、一時保管エリアP排水枡や陳場沢川河口においては、検出限界値未満であることを確認しています。

- 上記分析結果を踏まえ、一時保管エリアP南側排水溝および東側流入地点（上流）の排水溝の清掃を行うとともに、ゼオライト土嚢の設置作業を現在実施しております。

- 引き続き、当該エリア近傍のサーベイ等、汚染源の調査を継続し、当該排水枡や排水溝の全ベータ値が上昇した原因を調査してまいります。

# 採取地点及び分析結果（7月7日採取）



# 一時保管エリアP周辺のサーベイ結果（速報）

- ・ 一時保管エリアP周辺におけるサーベイを実施（7 / 6実施）
- ・ 1cm線量当量率（ $\gamma$ ）に比べて、70 $\mu$ m線量当量率（ $\beta + \gamma$ ）が有意に高い箇所を確認

単位:  $\mu$ Sv/h

地点	1cm線量当量率	70 $\mu$ m線量当量率
①	—	11
②	—	70
③	4	80
④	4	60
⑤	4	130
⑥	4	200
⑦	3	250
⑧	2	400
⑨	2	750
⑩	4	250
⑪	3	100
⑫	3	60
⑬	3	30

4



拡大図

定例サンプリング地点  
(排水枡)

